

評価基準																			
		学修成果の大分類	学修成果の中分類 〔10の力〕	配点比率 （学修成果の％）	評価方法の配点比率（％）					学修成果の小分類			尺度						
					定期試験	臨時試験	提出物	発表内容	受講態度	実習評価	学修成果の到達目標	修得する能力	評価方法／評価指標	レベル5 （S：100～90％）	レベル4 （A：89～80％）	レベル3 （B：79～70％）	レベル2 （C：69～60％）	レベル1 （F：59％以下）	
観点	尽心		① 学習意欲																
			② 規律性																
	創造	知識・技能	③ 知識	30		30					さまざまなスポーツのルールが分かり、説明できる。	専門的知識	筆記テスト	さまざまなスポーツのルールが十分に分かり、しっかりと説明できる。	さまざまなスポーツのルールが分かり、説明できる。	さまざまなスポーツのルールが概ね分かり、ある程度説明できる。	さまざまなスポーツのルールがある程度分かり、少し説明ができる。	さまざまなスポーツのルールが分からず、説明できない。	
			④ 技能	20		20					運動の技能が向上し、課題ができる。	専門的技能	実技テスト	運動の技能が十分に向上し、すべての課題が優れていた。	運動の技能が向上し、課題ができた。	運動の技能が向上し、概ねの課題ができた。	運動の技能が向上し、ある程度の課題ができた。	運動の技能が向上せず、課題ができなかった。	
		思考・判断	⑤ 情報活用能力																
			⑥ 課題解決力																
		表現	⑦ 言語活用能力																
			⑧ コミュニケーション力	50					50		スポーツを通したコミュニケーションができ、チームに貢献できる。	対人調和力	授業内でのチーム活動	スポーツを通したコミュニケーションが十分にでき、チームに大いに貢献できる。	スポーツを通したコミュニケーションができて、チームに貢献できる。	スポーツを通したコミュニケーションが概ねでき、チームにある程度貢献できる。	スポーツを通したコミュニケーションがある程度でき、チームに少し貢献できる。	スポーツを通したコミュニケーションができて、チームに貢献することができない。	
	実践		⑨ 主体性																
			⑩ 協働性																
合計				100		50			50										